

第15回全日本ユース(U-15)水球選手権大会－桃太郎カップ－【戦評】

会場：倉敷市屋内水泳センター 【2022/12/24】

この試合のプレー集計

1回戦

兵庫県選抜

7	2	－	3
	0	－	3
	1	－	3
	4	－	5

14 三重県選抜

審判:

潮崎 正一
中村 友美

兵庫県選抜	21	SH数	27	三重県選抜
	3	速攻数	7	
	3	ST・SB	7	
	3	SH・P誘発アシスト	7	
	39%	GK阻止率	22%	
	4	EX反則数	2	

ST・SB:ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

【1P】

センターボールを三重④柴田が奪うとすかさず⑦岩本がミドルSHシュートを放ち、それがゴールイン。幸先のいい三重の先制点で試合の幕が開いた。続けて三重は兵庫のSHミスを突いて退水を誘発し、そこを④柴田が決めて連続得点。対する兵庫は直後に6mSHのリバウンドを⑤杉本が押し込んで1点を返す。三重も⑦岩本が6mSHでお返しして再び2点差に。対する兵庫はピリオド終了間近に④福井のボール奪取から⑩佐野が中央突破ドライブSHを決めて、兵庫2-3三重で第1ピリオド終了。やや三重側が優勢に試合を進めているものの、兵庫も粘り強く応戦している形。

【2P】

このピリオドは完全な三重ペース。兵庫はなかなかゴール前にボールを運べない。兵庫の右サイドからのシュートを三重GKGK①林がセーブ。それを起点に攻め上がり、三重⑥水谷が右サイドからのドライブSHを決めて2点差に。さらに兵庫の6mSH外れから相手ゴール前へ攻め込み、三重②古川がセンターシュートを決め、さらにピリオド終了間近に兵庫の遠目からのシュートミスのお返しとばかりの④柴田の中央ミドルSHが決まって一気に点差を開いて前半を折り返した(兵庫2-6三重)。

【3P】

完全にゲームを支配した三重が、開始早々に④柴田が中央突破して7点目。兵庫は三重側の攻撃中の反則から攻め上がり、④福井が右サイドからシュートを決めて追いつがるが、三重は余裕をもって試合を運び、ピリオド中盤以降に速攻を連続して決めて、兵庫3-9三重と安全圏に。

【4P】

追いつがろうと懸命な兵庫と余裕を見せる三重。最終ピリオドは両チームがノーガードの打ち合いという展開に。点を取ってすぐ取られという応酬となった。ほとんどがミドルレンジからのシュートへのDFがやや疎かになってしまったのはやや残念。しかし最後は双方が積極的に泳ぐ水球を繰り出して、ドライブSHで点を取り合った形で試合終了。最終的には兵庫7-14三重という結果となった。

三重が上位進出するためには無駄な失点をどれだけ減らせられるかがポイントとなるだろう。また両チームともに、もう少し積極的にゴール前へ泳ぎ込むスタイルを見つけていくと成長できるだろう。